



令和3年9月27日
企画財政課

令和3年度 まちづくり町民意識調査 報告書

■ 目次

調査の概要	1
回答者の属性	2
町に対する印象	3
施策満足度・重要度	6
自治基本条例	8
多文化共生	10
施策に対する主な自由意見	11

■ 調査の概要

この調査は、第6次白老町総合計画に掲げる各施策に対する町民の重要度・満足度等を調査することで、計画の適正な進行管理を図ることを目的としています。

なお、本報告書では小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

対象地域	白老町全域
対象者	町内在住の満18歳以上の者(外国人を含まない)2,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送し、回答は郵送回答
調査期間	令和3年6月1日(火)～22日(火)
回収標本数	747票(回収率:37.4%) ※前回580票(回収率:29.0%)

■ 回答者の属性

年齢・性別	男	女	
20歳未満	2	3	(0.7%)
20歳代	14	17	(4.3%)
30歳代	15	18	(4.6%)
40歳代	32	37	(9.7%)
50歳代	38	69	(15.0%)
60歳代	65	81	(20.4%)
70歳以上	161	163	(45.3%)
合計	327	388	

世帯構成

1世代世帯(夫婦だけ)	362	(48.5%)
2世代世帯(親と子)	215	(28.8%)
単身世帯(一人暮らし)	117	(15.7%)
3世代世帯(親と子と孫)	21	(2.8%)
その他	21	(2.8%)
無回答	11	(1.5%)

居住歴

転入してきた	457	(61.2%)
生まれたときから	132	(17.7%)
一時、町外に住んで戻ってきた	125	(16.7%)
無回答	33	(4.4%)

○全回答の内、60歳以上の方が約3分の2を占めた。

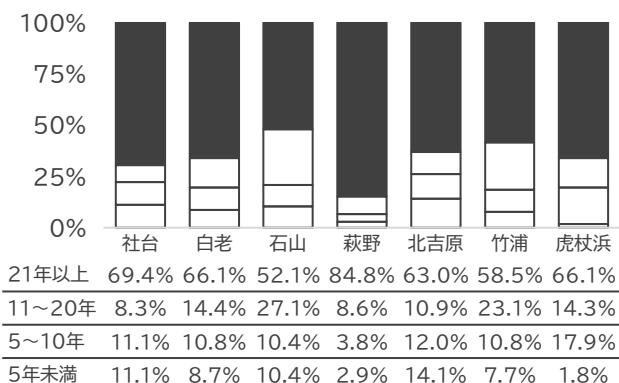
○地域別の居住年数を比較すると、萩野地区の長期居住者の割合が突出して高い。また、居住歴では、町外から転入してきた方が半数以上を占めた。

○転入理由は、人生の転機(卒業・就職・結婚・介護等)を要因としたものが大部分を占めた。

職業

無職	276	(36.9%)
家事専業	114	(15.3%)
会社員	113	(15.1%)
アルバイト・パートタイム	96	(12.9%)
自営業	45	(6.0%)
公務員・団体職員	45	(6.0%)
学生	9	(1.2%)
会社等経営者	5	(0.7%)
その他	31	(4.1%)
無回答	13	(1.7%)

居住地・居住年数



転入理由

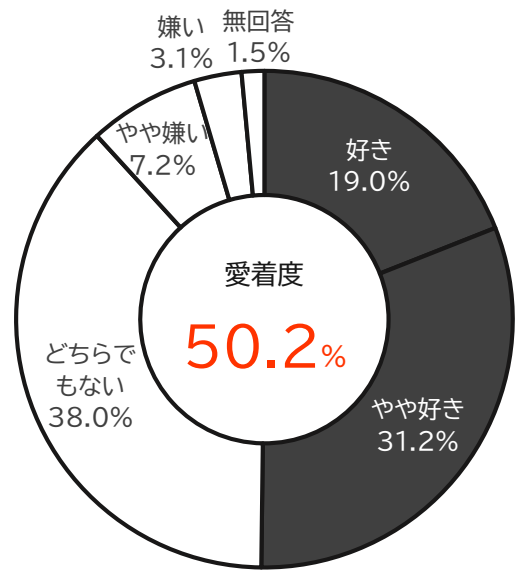
仕事の都合	158	(34.6%)
結婚	92	(20.1%)
家族の都合	81	(17.7%)
親族等が近い	15	(3.3%)
居住環境が良い	14	(3.1%)
老後の環境がよい	12	(2.6%)
自然の豊かさ	11	(2.4%)
地価が手ごろ	10	(2.2%)
子育て環境がよい	0	(0.0%)
その他	36	(7.9%)
無回答	28	(6.1%)

■ 町に対する印象

(1) 愛着度

○あなたは白老町が好きですか。

	(%)	
	元年度	3年度
好き	22.1	19.0
やや好き	35.7	31.2
どちらでもない	33.8	38.0
やや嫌い	4.7	7.2
嫌い	2.1	3.1
無回答	1.7	1.5



	(%)					
	好き	やや好き	どちらでもない	やや嫌い	嫌い	無回答
20歳未満	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	16.1	29.0	35.5	3.2	16.1	0.0
30歳代	17.1	28.6	42.9	5.7	5.7	0.0
40歳代	17.4	33.3	33.3	10.1	5.8	0.0
50歳代	19.8	23.4	37.8	12.6	5.4	0.9
60歳代	16.9	33.8	37.8	10.1	1.4	0.0
70歳以上	21.2	33.3	38.9	4.1	1.2	1.2

○前問で「好き」または「やや好き」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。

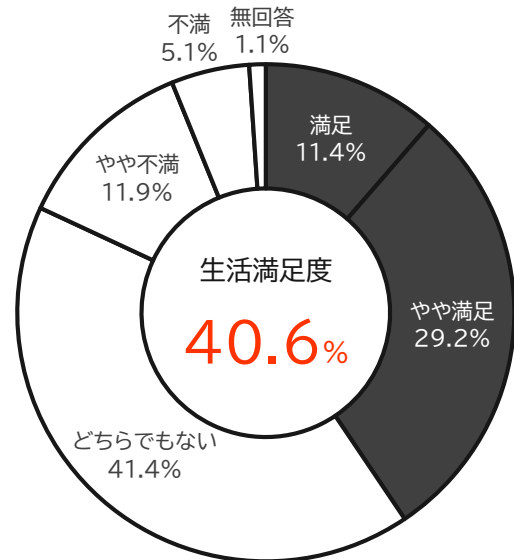
まちが好きな理由

自然環境が良いから	284	(34.2%)
温泉等があり、老後を楽しめるから	198	(23.9%)
食べ物がおいしいから	187	(22.5%)
芸術や文化にあふれたまちだから	32	(3.9%)
医療・福祉が充実し、安心だから	29	(3.5%)
子育てしやすい環境だから	28	(3.4%)
まち並みが好きだから	24	(2.9%)
まちの産業に活気があるから	14	(1.7%)
その他	34	(4.1%)

(2)生活満足度

○あなたは白老町の生活に満足していますか。

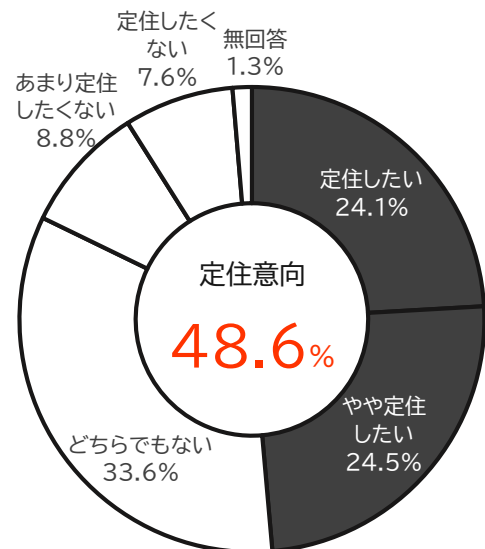
	(%)	
	元年度	3年度
満足	10.0	11.4
やや満足	25.9	29.2
どちらでもない	42.1	41.4
やや不満	16.0	11.9
不満	4.7	5.1
無回答	1.4	1.1



(3)定住意向

○あなたはこれからも白老町に定住したいと思いますか。

	(%)	
	元年度	3年度
定住したい	28.1	24.1
やや定住したい	26.2	24.5
どちらでもない	30.9	33.6
あまり定住したくない	10.2	8.8
定住したくない	2.8	7.6
無回答	1.9	1.3

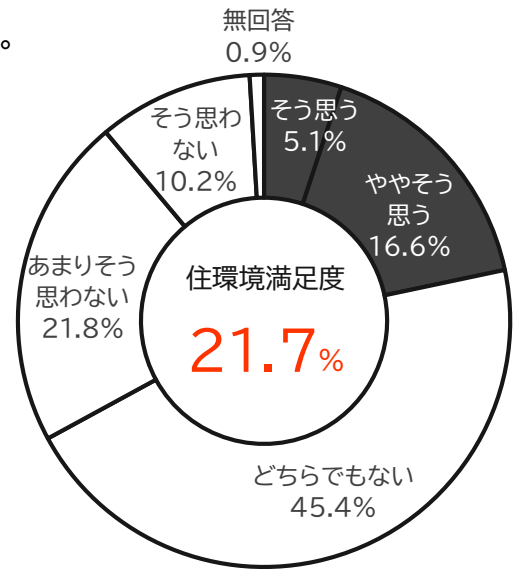


	(%)					
	定住したい	やや定住したい	どちらでもない	あまり定住したくない	定住したくない	無回答
20歳未満	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0
20歳代	12.9	12.9	35.5	9.7	29.0	0.0
30歳代	14.3	20.0	45.7	11.4	8.6	0.0
40歳代	15.9	26.1	34.8	10.1	13.0	0.0
50歳代	21.6	24.3	29.7	9.9	13.5	0.9
60歳代	18.2	27.0	36.5	11.5	6.8	0.0
70歳以上	31.9	25.7	31.9	6.8	2.9	0.9

(4)住環境満足度

○白老町は快適な住環境が整備されていると思いますか。

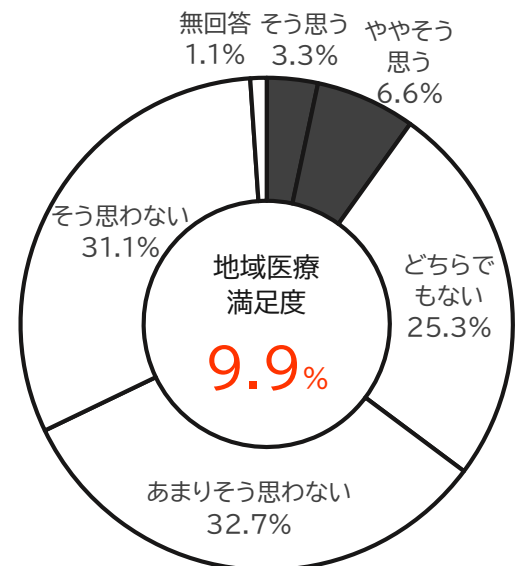
	(%)	
	元年度	3年度
そう思う	2.9	5.1
ややそう思う	26.7	16.6
どちらでもない	42.1	45.4
あまりそう思わない	21.0	21.8
そう思わない	4.8	10.2
無回答	2.4	0.9



(5)地域医療満足度

○あなたは、白老町に住んでいて安心して医療を受けることができると思いますか。

	(%)	
	元年度	3年度
そう思う	1.6	3.3
ややそう思う	7.8	6.6
どちらでもない	26.9	25.3
あまりそう思わない	36.4	32.7
そう思わない	25.5	31.1
無回答	1.9	1.1



○愛着度

前回比、7.6ポイント減の50.2%となった。主な内訳として、「どちらでもない」が4.2ポイント増加し、「やや好き」が4.5ポイント減少した。年代別では、70歳以上が最も愛着度が高く、40歳代、60歳代、70歳以上では愛着度が50%を上回った。

○生活満足度

前回比、4.7ポイント増の40.6%となった。

○定住意向

前回比、5.7ポイント減の48.6%となった。年代別では、年齢層が高いほど、定住意向が強くなる傾向が見られた。また、20歳代以下では、他世代と比較して、「あまり定住したくない」「定住したくない」の回答が多い結果となった。

○住環境満足度

前回比、7.9ポイント減の21.7%となった。

○地域医療満足度

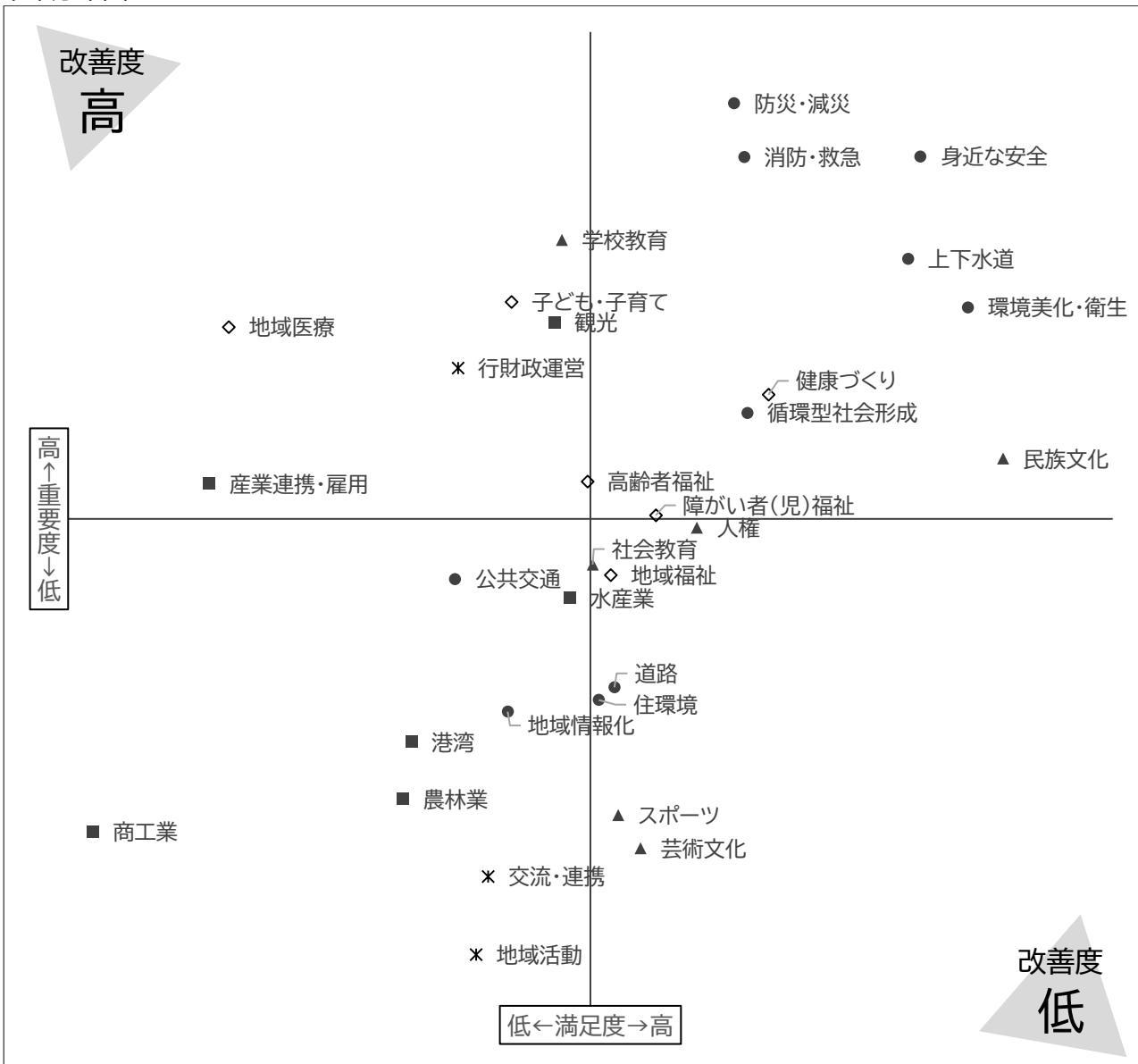
前回比、0.5ポイント増の9.9%となった。

■ 施策満足度・重要度

(1)一覽表

		満足度		重要度		改善度	
		元年度	3年度	元年度	3年度	元年度	3年度
生活環境	身近な安全	58.3	57.0	79.8	69.5	10.1	5.8
	防災・減災	54.4	49.9	85.8	70.3	15.2	10.2
	消防・救急	66.4	50.3	85.1	69.5	8.6	9.6
	環境美化・衛生	54.2	58.8	73.9	67.3	9.4	3.9
	循環型社会形成	55.7	50.4	77.0	65.8	10.1	7.6
	住環境	50.8	44.7	71.0	61.7	10.0	9.9
	公共交通	45.1	39.2	80.8	63.4	18.7	16.0
	道路	49.3	45.3	79.8	61.9	15.3	9.5
	上下水道	65.8	56.6	83.6	68.0	8.2	5.3
		地域情報化	52.0	41.2	69.4	61.5	8.5
健康福祉	健康づくり	61.3	51.2	81.2	66.1	9.3	7.3
	地域医療	44.7	30.6	85.6	67.1	21.4	24.8
	子ども・子育て	52.0	41.4	81.7	67.4	14.6	15.4
	地域福祉	53.6	45.2	81.7	63.5	13.7	10.3
	高齢者福祉	56.8	44.3	82.5	64.8	12.2	11.6
	障がい者(児)福祉	56.3	46.9	79.6	64.4	11.1	9.4
教育文化	学校教育	53.6	43.3	81.9	68.3	13.8	14.1
	社会教育	53.4	44.5	71.4	63.6	8.7	10.9
	芸術文化	57.1	46.3	69.5	59.6	5.8	7.6
	スポーツ	56.0	45.5	71.0	60.0	7.1	8.4
	民族文化	60.2	60.2	70.5	65.2	4.7	2.3
	人権	55.1	48.5	72.0	64.2	8.0	8.1
経済産業	産業連携・雇用	51.0	29.8	80.5	64.8	14.6	22.6
	港湾	50.7	37.5	69.5	61.1	9.3	16.1
	商工業	44.3	25.4	80.0	59.8	18.9	19.6
	観光	48.8	43.0	80.6	67.1	16.1	13.8
	農林業	52.6	37.2	73.7	60.3	10.3	15.3
	水産業	54.9	43.6	77.9	63.2	11.0	11.6
地域自治	地域活動	53.9	40.0	72.4	58.0	8.9	11.9
	交流・連携	54.8	40.5	62.8	59.2	3.7	13.1
	行財政運営	49.9	39.3	80.5	66.5	15.3	17.0
	平均	54.0	44.4	77.2	64.3	11.4	11.7

(2)分布図



【満足度】上位3施策

- | | | |
|----------------|-------------------|-----------------|
| 1. 民族文化(60.2%) | 2. 環境美化・衛生(58.8%) | 3. 身近な安全(57.0%) |
|----------------|-------------------|-----------------|

【満足度】下位3施策

- | | | |
|---------------|-------------------|----------------|
| 1. 商工業(25.4%) | 2. 産業連携・雇用(29.8%) | 3. 地域医療(30.6%) |
|---------------|-------------------|----------------|

【重要度】上位3施策

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 防災・減災(70.3%) | 2. 身近な安全(69.5%) | 3. 消防・救急(69.5%) |
|-----------------|-----------------|-----------------|

【重要度】下位3施策

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 地域活動(58.0%) | 2. 交流・連携(59.2%) | 3. 芸術文化(59.6%) |
|----------------|-----------------|----------------|

○全施策の重要度の平均値は前回比、12.9ポイント減少し、満足度の減少幅(9.6ポイント)よりも大きい減少となった。一方で改善度の平均値は前回とほぼ同様の値であった。

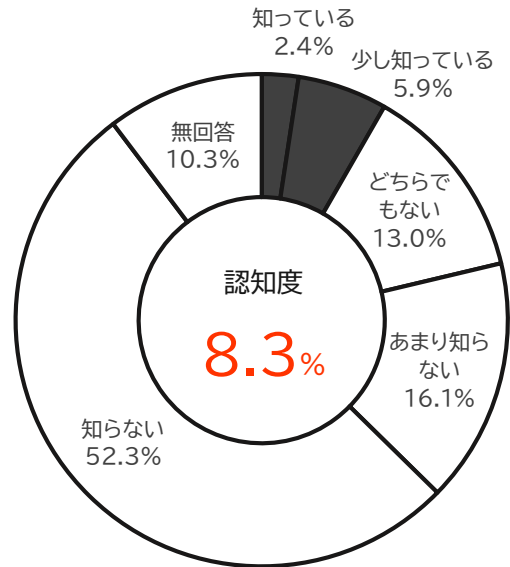
○改善度を施策別に見ると、最も高いのは「地域医療」で、「産業連携・雇用」「商工業」が後に続いた。一方で、低い順では「民族文化」「環境美化・衛生」「上下水道」となった。

■ 自治基本条例

(1) 認知度

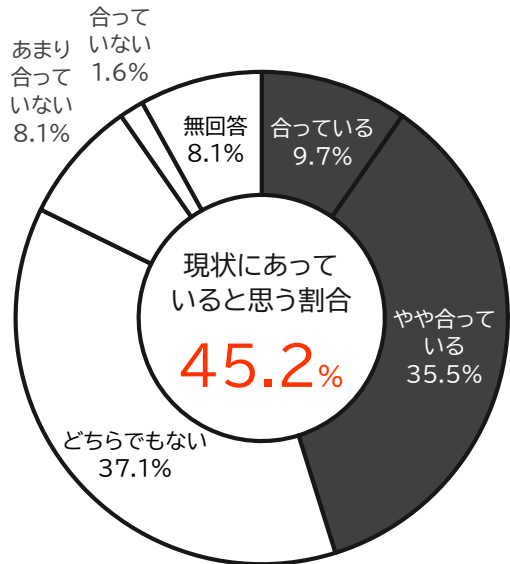
○あなたは「白老町自治基本条例」を知っていますか。

知っている	18	(2.4%)
少し知っている	44	(5.9%)
どちらでもない	97	(13.0%)
あまり知らない	120	(16.1%)
知らない	391	(52.3%)
無回答	77	(10.3%)



○前問で「知っている」または「少し知っている」と答えた方にお聞きします。現在の自治基本条例が白老を取り巻く現状に合っていると思いますか。

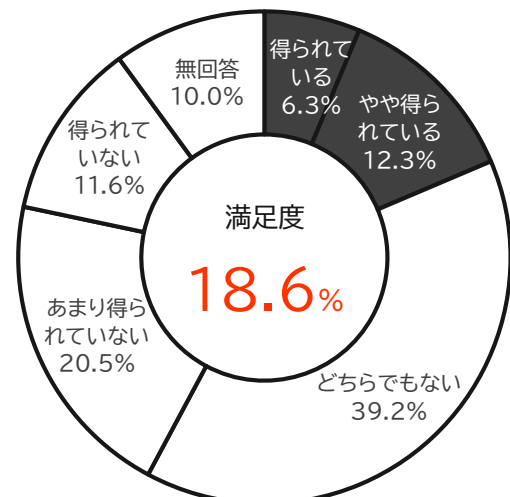
合っている	6	(9.7%)
やや合っている	22	(35.5%)
どちらでもない	23	(37.1%)
あまり合っていない	5	(8.1%)
合っていない	1	(1.6%)
無回答	5	(8.1%)



(2) 情報発信・町民参加

○あなたは役場から必要な情報(町のイベントや取り組み、制度等)が得られていると思いますか。

得られている	47	(6.3%)
やや得られている	92	(12.3%)
どちらでもない	293	(39.2%)
あまり得られていない	153	(20.5%)
得られていない	87	(11.6%)
無回答	75	(10.0%)



○あなたは役場からの情報を主にどのような手段で得ていますか。

広報げんき	444	(76.3%)
町内会回覧	76	(13.1%)
町ホームページ	26	(4.5%)
親族・知人等	17	(2.9%)
新聞	11	(1.9%)
町SNS	2	(0.3%)
その他	6	(1.0%)

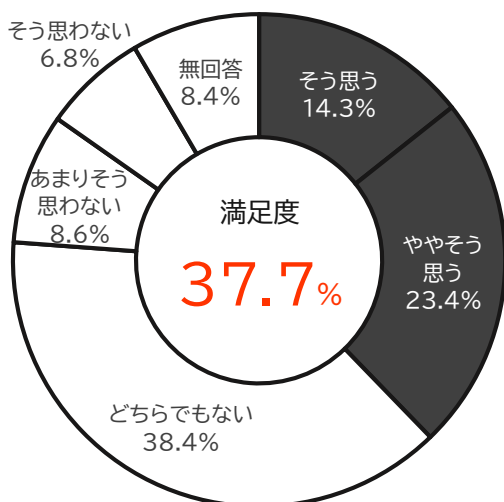
○あなたは町民参加の方法として、これまでに参加したことがあるものを教えてください。

参加したことがない	369	(45.7%)
アンケート調査	234	(29.0%)
講演会・説明会	121	(15.0%)
出前講座	65	(8.0%)
審議会等委員	15	(1.9%)
パブリックコメント	4	(0.5%)

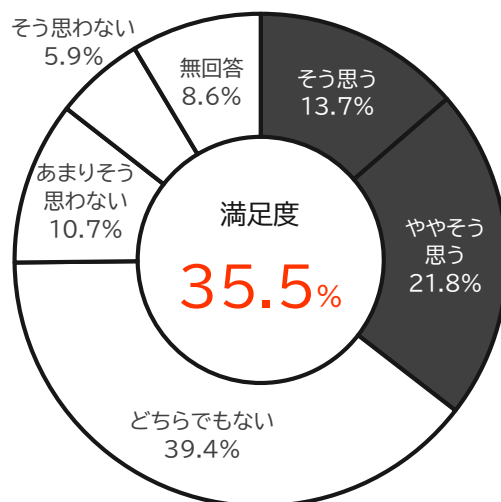
(3)職員対応

○白老町職員の印象についてお聞きします。ここ数年、白老町職員と接した時、対応した職員の印象を教えてください。

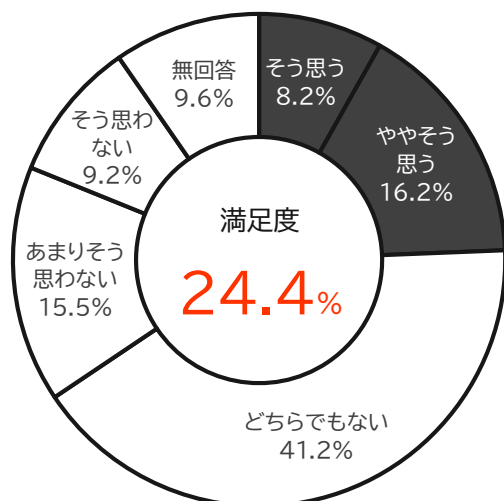
①親切かつ丁寧な対応をしていた



②説明が的確で分かりやすかった



③積極的に情報を提供していた



○条例の認知度は8.3%と著しく低い結果となった。一方で、条例が現状に「合っている」「やや合っている」と回答した方の割合は45.2%と、「合っていない」「あまり合っていない」の回答割合を大きく上回った。

○情報発信に関する満足度は18.6%となった。

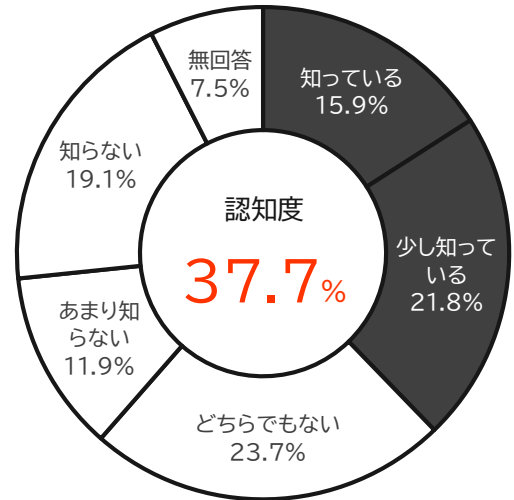
○行政からの主な情報源は「広報げんき」であり、全体の4分の3以上を占めた。また、町民参加の設問では、「参加したことがない」との回答が半数を下回り、半数以上の町民が町政へ参加していた。

○職員対応は各項目で満足度が低迷し、3分の1程度にとどまった。

■ 多文化共生

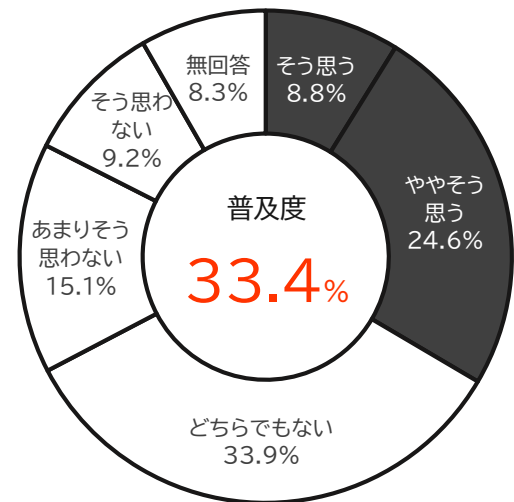
○白老町が多文化共生のまちづくりを進めていることを知っていますか。

	（％）	
	元年度	3年度
知っている	7.4	15.9
少し知っている	53.6	21.8
どちらでもない	10.2	23.7
あまり知らない	20.2	11.9
知らない	7.6	19.1
無回答	1.0	7.5



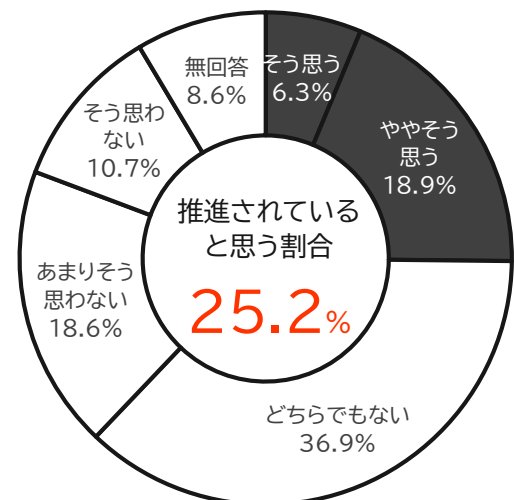
○アイヌ文化や多文化共生への理解が深まったり、普及が進んでいると思いますか。

	（％）	
	元年度	3年度
そう思う	4.3	8.8
ややそう思う	37.2	24.6
どちらでもない	26.9	33.9
あまりそう思わない	22.8	15.1
そう思わない	7.2	9.2
無回答	1.6	8.3



○アイヌ文化や多文化共生(外国文化など)に関する教育が推進されていると思いますか。

	（％）	
	元年度	3年度
そう思う	2.4	6.3
ややそう思う	24.7	18.9
どちらでもない	36.2	36.9
あまりそう思わない	26.0	18.6
そう思わない	9.0	10.7
無回答	1.7	8.6



【施策に対する主な自由意見】

転入してすぐからコロナが初まり、あまり沢山の方とお会いしていないのが正直なところです。でも町内会の行事には、参加しています。(清掃など)あまり、お節介をやく方がいらっしやらないのが私達には居心地が良い所でもあります。コロナが終息したら温泉やいろいろな所へ行きたいと思えます。

白老町の人口を減らさないように、若者が働ける職場を作ってほしいです。

設問が抽象的すぎて、答えるのが難しい。

共働き世帯が多い中、放課後、長期休みなど、安心にすごせて充実できる場所、今の場所はせまくて学校の利用はできないんでしょうか。

環境問題ですが鹿がどんどん繁殖し、石山大通に出て来たり住宅地にも群れで来て茶園を荒らしたりします。共生とはいいいながらも何か対策はないものんでしょうか。

白老町の将来に向けて、絶対に必要な存在を再確認して、その存在を白老町のシンボルとして位置付けて、町民の一体化を図る事が必要ではないか。早期実現を希望します。

元気号、バス利用しているが、朝8時と午後2時の2本で大変不便と感じている方々が多いです。もう少し考えていただきたいと思えますので宜しくお願い致します。

下水道を整備してほしい。インフルエンザ予防接種は子供達にも助成してほしい。

・航空専門学校の実態が不明。・いきいき4・6近くの元厚生年金の施設がとてももったいない。・子供達・子育ての金銭的支援を多くし出生率を上げてほしい。・緊急入院できる安心した施設の充実。

虎杖浜は漁師が多いせいか、きたない。何か都会ではにおわない臭さが漂っている。銀行がない。草だらけ。国道が草、ゴミだらけ。何一つとっても不便。10年位前に引っ越ししてきましたが、おしゃれな所が1つもなし。歩いてみてもきたない。活気が全然なし。海周りはきれいにして整備し、だれでも歩ける様にした方がよい。海岸通りにくらししていますが、台風がくるたび波におびえている。都会では考えられない。役場の住民課年金課は一人ひとり仕事を把握しているが、納税課は知らないのか人任せでびっくりしました。友達ではないのに言葉づかいがおかしかったです。

友達が少ないから、コロナが終わったら世代問わず交流出来る場所を作ってほしい。自然を生かしたイベントをして欲しい。(ゆるキャラ、アニメ等)

あまりにも白老の駅付近ばかりに、何でも集中しすぎ。ウポポイに偏りすぎ。

スーパーマーケットがもう1軒必要な気がします。

町並みはキレイだと思います。お花が植えられていて、ゴミが落ちていないので。医療福祉はもう少し力を入れた方がいいと思います。高齢者が多いので。公共交通機関が充実していたらもっと良いのにとおもいます。車を持っていない人も多いと思うので。白老の町中を巡るツアーがあれば、観光客も増えると思います。SNSを使って町をPRしたら良いと思います。若者が訪れたいと思うようにインスタ映えスポットをたくさん作って欲しいです。

65歳以上の高齢者世帯です。車を利用するの日は特に不自由を感じる事が無い平穏な毎日です。高齢になった親はデイサービスのお世話になっておりますが、1人の高齢者に係る町、国の負担に驚きの金額。せめてこの負担が(個人負担)このままでありますように。

平均窓口の対応は良くないです。町営住宅の入居希望の際、色々な取り決めが有ると思いますが、相手の方の事情などを聞き入れて、臨機応変に対応する必要が有ると思います。白老町民なんですから。

海有り、川・山・温泉など自然がいっぱい。空気が美味しい。しかし若者の働く大きな雇用の場所がなく、安心して生活出来ない様な気がして淋しいです。特にこのコロナ感染予防等を率先して保健衛生課の気配りが欲しいです。

町民になって4年位なので、わからない事もありますが、気候の面(気温、積雪)、食の面でも野菜、肉、魚が新鮮、温泉が身近にあり、60~70歳の私達には住みやすいと思っています。今後の不安は、買い物等の交通手段と医療の面です。自然があり、ポロト湖は好きな散歩コースとなりました。

今回これら3つのアンケート調査が来ましたが3つに共有する同じ質問をくり返し記入する様になっていますが、庁舎内での横の繋がりが無いのか。なぜ町民の声を3グループ全体で共有できないのか。親方日の丸はもうやめましょう。

高齢化が進み、老人が増え、子どもが減少し、人口が増えない。自然豊かな温泉のある町として、高齢者が住みやすい町づくり。病院や数々の施設と種々の対策で全国から高齢者が移住してくる町とする。若者が移住するには働く場所が必要だが、高齢者は安心して住める町づくりができれば、自然豊かな町、温泉のある町、食べものがおいしい町に移住します。雪も少ないので最高です。

地域福祉、高齢者福祉で大町の中央生活館の取りこわしに対し、ガツガツしています。町からの説明会がありました。高砂町に新築更新が決まっているような説明会であった。大町地区の町内会が多く使用している中央生活館であり、町内会コミュニティの崩壊につながる事が考えられる。今後の町内会活動で互いに助け合うとか安心して長寿を楽しむことができないと思います。

2、3年前にも同じようなアンケートに答えました。本当に無作為に抽出しているのか疑問に思います。

引っ越してきて間もないので、わからない事が多い。活気づいた町であってほしいが、コロナが安全になるまで活気づいてほしくない。ワクチンは高齢者からではなく、働きざかり、大・高・中生から打つべき。歯科出張診の様に、学校を一つずつつぶしていけば早い。この声は国には届かないでしょうが、道・市には届いて欲しいと願う。

地域が長い町なので、それぞれ良い所があるけれど、活かされていないのが残念です。

結婚で白老町に住み始め、子どもを産み育てていく中で、こんなにも子育てに不自由な町があるんだと心底思いました。子どもが病気になっても安心して受診できる病院がない。外で安全に遊ばせたくても近くに公園がない。等たくさんの不便しかない町だと感じました。

鹿がここ2年程、住宅街や石山通等で見かける。車と接触も多い。畑の花や、収穫前の野菜も食べ散らかす。オスの群れは恐怖でもある。看板で注意を促すのが解決法か。

住環境に関しては空き家問題が今も大きな問題になると思い、防犯、景観共に別荘地に住む者としては実感しています。地域医療に関しては、町内診療所も後継者がおらず、医療の過疎も現実問題ですが、町内に限定せず交通面で資金を出し隣町の登別や苫小牧の病院と連携することで、赤字の巣窟である町立病院を存続せずとも医療は担える流れになると思う。町立存続よりも新規参入の診療所、病院が開業しやすい環境、税の優遇等町も考え支援していく方向等本当の意味での住民支援の志を持つ町職員の考え、動きが白老町職員の中堅職以上の人には不足していると感じる。”自分の任期が安泰に終わればいい”とって働いている人が多く感じる。海・山・自然・温泉等たくさんアピールできるものがあるのに道内出かけてみて人口規模が白老の3/4程の町でも魅力を感じるが、出かけて行き白老に戻ると何もない現状に納税者としてはとてもがっかりしてしまう。もっとお金がないではなくいかに効果的にお金を使うかに知恵を注いでほしい。

道路状況つぎはぎだらけで良くない。ほそうして欲しい。白老バスも大型でないワゴンタイプにし、経費削減した方がいいのでは。

・循環型社会形成の中で、脱炭素社会の促進、リサイクル率の向上、食品ロス削減社会の推進の町としての目標を明確にする必要があるのでは。・健康づくりは高齢化の町で生涯健康でのテーマをつくり具体的に実施すべきではと考えます。地域医療に関しては医師との信頼関係を重視できる体制づくりをしていく。・安心して子どもを産める環境づくり、町を家として育ていける体制づくりが必要であり、人口減少の中で人と人とのつながりを重視し、公助、共助、自助の町民が一体となった町づくり・つながりの強い町づくりをいつまでも住み続けたい町づくりを希望します。

問 14 については、一部の職員について不親切と感じた。親切でない職員がほとんどである。

・白老小学校が家庭学習に力を入れているが、時間等細かく指導され、半ば強制的な為、子どもの負担になっている。・登下校の距離が遠すぎて、スクールバスや自転車登校を進めて欲しい。(白小)GPS やキッズケータイを認めて欲しい。・歩道の整備(段差が多く、ベビーカーが使いづらい)。・乳児・幼児検診のやり方を見直してほしい。(コロナ禍での時間差での実施や共用するおもちゃの消毒等)・ウポポイの年間パスポートについて、コロナ禍の為、2020年度の期限を延ばしてほしい。(町民なのに1度も行けていない)・救急病院が遠すぎて、夜間に子どもの体調が崩れた時が大変です。・町立病院の予約をネットでできるようにしてほしい。直接出歩いてカードを入れるなど、アナログすぎる。

・雇用が無いので、住人が増えず、町も潤わない。・遊ぶ場(家族で)が無く、行こうと思わない。・ウポポイも一度訪れると満足で、他に行く所も無い。

転入してきた人にとって一番不安に思うのは早くその町になじみたく、それには人が集うつながり、交流できる場所を詳しく知りたいのですが、どこで、どういう事ができて、サークル等はどこに行けばわかるのか。どんなサークルがあるのか。時々広報などくわしく知ることができれば住人として参加して交流ができ、楽しく生活できると思いますので、活動をできる場所、サークルなど沢山増やしてほしいと思います。

白老町民全体で動いてなく、ほんの一部の人達が活躍しているので、町全体としても盛り上がりがない。ウポポイが町全体で受け入れていないように見えます。アンケートは事務時間がかかり大変でしょう。町民と一緒に考えることがないかなー。沈んじゃって、暗いよなー。形ばかりにとらわれずにもっと積極的に。

高齢者のことも大事ですが、若い人を大事にほしいです。

町の活性化や人口増加の為に。学校教育の充実が、必須条件と考える。安心して子供を生み、育てる環境づくりが大切で、特に小中学校のハード・ソフト両面にわたって、充実・向上が望まれる。

下水処理費が北海道の中でも高すぎるので下げるべき。

・ウポポイを見て、それだけで帰ってしまうので、白老の商店街で買い物や飲食をしてもらえるように今まで以上に考えてください。・難しいと思いますが、人が集まる例えば、コストコ、ドンキ、イオンなど、大型店舗の誘致などウポポイでせつかく多くの人が集まるので、その集客を何かに利用してもらえるといいなと思います。・日本製紙(株)の臭いはこれ以上どうにもならないですか。苫小牧は臭いはしないので、お金の問題ですか。

一部の間人同士で仲間意識があり、とても住みにくい。無駄な長生きが多く感じられる。役場関係の人間のみが住みやすいと思う。ヒソヒソ話・噂話がとても耳に入り、居心地が悪い。アイヌも上だけが喜んでいる。そもそも白老町が嫌い。商店街もさびれ、全くにぎやかではない。働きたいと思う職場もない。いつもわかりきっている選挙。やる意味も全く感じられない。空気も悪く、ギスギスしている。良い人は、皆引越してしまう様な町である。

全町民(幼児～お年寄り)の声を聞いてほしい。目に見える所・良いところ取りではなく。

国立公園ができてうかれている町。(しかも一部の人だけ)町外、道外の人から、それでウポポイって何と未だに聞かれるくらい、よその人は知らないです。すたれていく温泉地を整える気もないから、薄汚れた町並みがよもや温泉地と思われぬ。(登別の方がまだマシなので、よその人にはそっちをすすめている)スーパーの品ぞろえが地元の交通手段を持たず町外で買い物できない人達を食いものにしている。

各所についているスピーカー。町からの連絡。何を言っているのかわからない。各家に配線してはどうか。最近、白老町のウポポイの宣伝を書いたバスがよく走っている。人が乗っていない空バスが良く見る。白老町のバスか。もったいない。ほかに利用したらどうか。

インターネットの届かない地域があると、今後生活がしづらくなる。その辺の差をなくしてほしい。

農、水、畜は頑張ってもっと伸びてほしい。ウポポイは札、登、洞の通過地点でいまいちだろう。

ウポポイは良いところで、町内各郵便局のポストが汚れた青色は好ましくない。模様はともかくポストは赤に塗りかえていただきたい。(郵便物を投函する気になれない)ウポポイのみ重視せず、白老町にはブランドの食文化(牛肉、鱈子、卵、シイタケ等)を大いに宣伝されると良い。最近ユーチューブ動画で PR してくれていますよ。

小児科などが無いので子育てがし辛いと思う。港もガタガタで屋根など衛生的によろしくないの、改善すべき。コロナ禍で自営業の人はカツカツなのでそれに対する補助金や対策をすべき。漁業に関しては、コロナにより水揚げはあるが、お店が時短などになり、消費が落ち込み、困っている。スーパーで 500 円で売っている魚が市場のセリになると 30 円になっている現象が起きているので、地産地消をすべき。生産者も消費者も win-win な関係を目指すべき。

・地域医療について。近くに町立病院はありますが、受診したい科がないので、苫小牧まで行かなければならない。婦人科や皮膚科など。皮膚科は町立病院にあるが週1回だけなので、受診したいときに不便だと思います。・身近な安全について。小学生の子どもがいますが、学校からの不審者情報が去年や一昨年も度々ありましたが、その後どうなったのか全く分からず怖い。・廃屋のような、物が散乱している空き家があり、強風の時など、物が飛んで来ないか危ない。・町の施策と関係ないかもしれませんが、ミンタラの横のふわふわドームの下が砂利なのが危ない。ふわふわドームが滑るので子どもたちははだしで移動している。砂利ではなく、やわらかい物を下に敷いていただきたい。

最近アイヌ文化をあまり重視しがちな所が目立つ様で、どうかと思っている所です。

白老は住みよい町ですが、ウポポイができ、まだまだ良くなるのではと期待しましたが、町全体が、あまり変わりなく、バスも人が乗っている姿が見えない。(空車状態)もう少し、町民の盛り上がりしてほしい。

・町営のスポーツジム(バイク、ランニング等)と汗を流した後の温泉が必要(旧厚生年金施設の活用)・年金受給者が介護保険料の上部流入はおかしい。健康意識が足りずヨレヨレになっている人が多い為と私は考えている。・ハイヤー運転者の交通マナーが悪い(タバコ、駐車)・町職員の中には、昼食後マイカーを庁舎前の客用駐車場に置いて帰る者もいる。・スピード違反を繰り返している者もいる様だ。

町の顔であるべき役場、町立病院の建物が古く、ハイカラさに欠ける。

ポロト温泉がなくなったことがとても残念。苦小牧からもたくさんの方がおとずれていましたが、何よりの近くの住民が、いやしのひと時がえられなくなったことが残念です。

意識調査票を一つ一つ見て自分が白老に生まれ80年少々生きてきて、あまりの無知に恥じております。一ついえる事は白老に一生いられることに大変幸せを感じております。ますます町民に好かれる暖かい住みよいまちに前進してください。がんばってください。

各設問に対して、町として、どういう取り組みをしているのか見えていない。

ウポポイが出来てから町の中心周辺はきれいに整備されているが、他の町内にももっと目を向けて欲しい。仕方ないと思うが、社台～虎杖浜まで、同じ白老でも道路、公住等きれいにしてほしいと願っております。高齢者も多く買い物に行くのに、元気号が頼りです。デマンドもありますが、予約しないと乗れない、急にその日の気分が出かけたいと思うことがあるので、元気号は無くってはならない大事な足だと思っています。よろしくお願いたします。白老は大好きな町でほっとできる町です。

まちづくり会社はどうなっているのですか。広い視野と長期的な展望を持ち白老の良さを考えてください。

一部の白老町職員の対応(電話含む)がめっちゃくちゃだ。町民から給与をもらっているという自覚が全くない。地方公務員法の基本に戻してほしい。

・ウポポイのおかげで少しはアイヌも報われたのではないか。しかし、町民全体で一緒に活動しようとする心が見ることができないのがさみしい。・和人の作ったものにはせものと言われている。

私の居住する町内会は町内会役員が機動的であり、高齢者のコロナワクチン予約を町内会役員が自ら担当等、大変尊敬できる活動をされています。他の町内会での活動に温度差もあるようで、「自助・共助・公助」の共助は今後の町民の生活において大変重要ではないかと考えております。

各自治体も同じだと思うが、正直死に体の町だと思うし。あまり期待はしていない。白老は好きだし、長く住みたいので、やれることだけでも頑張りたい。

・町内のサークル・行事等、かんぱん等で知らせてほしい。・野菜作り・販売等、知らせてほしい。・北吉原・萩野・石山等のバス時間増えるといいと思います。

何をすることも教育が基本と考えます。人材の資質向上を目指していただきたい。

町立病院は維持して欲しい(あわよくば充実させてもらえると)

全体的に高齢者向けの施策になっており、子育て世帯が受ける恩恵が少なく感じる。公園が少なく整備予算が少なすぎる。教育施設も同様。スポーツ施設に関しては好印象。継続してもらいたい。我々も移住組だが、白老には魅力的な資源が盛りだくさんで未来は明るいと思う。移住者組の意見をもっと吸い上げ、子育て世帯の移住を促進し、教育を充実させ、活気のある町にして頂きたい。

・虎杖浜は白老町から除外されている様に感じる。役場が遠くにあるため、親近感がない。・町づくりにおいても、道の駅も作れないのでは。観光 etc.にどのような対応を考えているのか。市町村との調整に力が無いのでは。

町内に居住するものとしては、町内会(活動)が行政や地域とのつながる要となりますが、停滞しているのが実情でないかと思えます。高齢化や独居世帯も多く、自助・近助や共助は不可欠と思えますし、この一助が町内会(活動)と思えますが、機能していないのが実態だと思います。高齢化や役員のなり手がいない以前に、組織・ルール・運用等も形骸化している現状にあり、地域環境の変化も加わり、心の疲弊化が起因していると思えますが、今必要なのは、行政の直接介入による指導、支援が不可欠と思えます。町内会の停滞は、愛町精神やまちづくりに大きな影響もあると思えますので、行政の一層の介入による活性化支援をお願いいたします。

アパート入居のためか、広報誌が届きません。町内会に加入していないからでしょうか。そのため、昨年の消毒液も頂いておりません。

施策 1-3 消防・救急のめざす姿について、「あらゆる災害から～」とありますが、「災害」というと日常的に起きるものではないため、もっと日常的に起こりうる「病気・ケガ・事故・火事 etc.」のようなフレーズの方がわかりやすいかなと感じました。災害のみではなく、あらゆる非常事態に対応という意味で。

地域格差があり過ぎる。

施策 4-2 港湾について。白老に港は必要なのでしょうか。漁業で使うには大きすぎる感じがしますし、物流や観光で使うのであれば苫小牧の港を使用すればいいように思います。今後、維持管理が大変なのは。

今の白老町は元気な町は遠い話しです。今後重要度に期待する所であります。ウポポイだけで満足なのか。白老の町に温泉はありません。竹浦・虎杖浜まで行かなければ無いです。今はコロナで大変ですが、役場の職員や看護師の横柄な事、他の所では対応がまったく違い、はずかしいです。

職員及び町会議員が自分の職場掃除や雪かき等、自分の働き所を足元から見る事が町民にもわかってもらえることが必然に良くなる事だと思います。

組織全体で5課。今の課別は多すぎる。統合して全体に5課多くて7～8課。町はアイヌ観光多くの便宜が偏っているのを改めること。町民の多様な政策とするよう脱却すること。よってアイヌ政策課は不用。町民全体に還元できる施策が重要。次にウポポイ関係の小型バス乗車する人は0に近いのではないか。(実際にバスを見て)すぐ中止したらどうか。よって町の人員も今の半分で可能(民間比)十分だ。課長職等多すぎる。グループ制なのであれば全体統括の能力が必要。

地域医療は不安が有りますが他の基本方針は満足に近いと思って生活していますが街を歩いていると商店街の歩道と駐車スペースの間の腰掛けられる場所の汚れがひどく、ちょっと休みたいと思っても座る気にはなれません。せめて自店の前は日常の清掃をしてきれいな状態で保たれることを願います。何かのイベント、誰かの発案、どこかからの費用がなければ動かないのではなく、各々の行動があって、活気が生まれると思います。ウポポイ周辺はきれいになりましたが、町全体を見るとまだまだのようで緑丘公住の建て替えも耳にしましたが全世帯の転居を待つのではなく入居者の無い棟から取り壊しを始めれば今入居している方も現実味が出て考えるきっかけになると思います。アンケートだけでは皆さん動きません。元気号とグルポンを統合してはどうでしょう、そして時刻表の見方が見やすくなりましたが、まだ、解りづらいと思っている方もいます。ウポポイの入館もパスポートを作りましたが予約なしで散歩がてら入れる様、人数確認をすれば利用できるとうれしいです。

外から入ってくる人が盛り上がり色々してくれても、「その人達だけ」という感じがあり、地元は置き去りにされてると感じることもあります。もっと、「地元力」を生かすべきだと思います。

ウポポイの活動が左翼によって利用されているとネット情報で見ると多いので心配です。正しい歴史認識を白老町で進めてほしい。

商業施設、特にスーパーが1軒しかない、行くのにも車がなければしんどい、小さくてももう1～2軒あれば良い。

若い人が働く場所がない限り人口増加は望めない空き家等を利用して、他市からも気軽に泊まりに来れる民泊等に活用してはいかがですか(近隣の事もありますが)又は物作りをしてくれる方、パン、お菓子作り等

施策 5-1 関連。住民の高齢化が進み(環境整備)を呼びかけても参加する者が年々減少。・特に自治会活動の活性化が望まれる。(住民個々の意見を聞いてもらえる会に)・現状、施策 5-1 に逆行している。

子どもたちが遊ぶ場が無い。公園も遊具が無くかわいそう。白老小の校区が広すぎ。通学に1時間近くかかるのも問題。小児科も1か所しかなく、休診の時、苫小牧まで行かなくてはならない。負担が大きいです。元気号なども大切だが、子育てに対しても、もっと力を入れて欲しいです。

・港湾の活用が無い。観光に使用してはどうか。砂、砂利ではマイナスばかりです。・高齢者が多い中温泉が無いのが白老町です。ぜひ作ってほしい。

・医療は町民が安心・信頼できる。また足を向ける様に診察、対応の一考。・健康づくりは芝の上で、十分体を伸ばすエリア造り。・町全体はまず、各担当者が現場を見る事が一番です。

・この町に住み始めて日は浅いですが、バス利用の仕方がいまいちわかりません。・ご近所の方は皆さんフランクで感謝しております。私達よりけっこう年齢も上という事で何かあればお手伝いや地域貢献もしていきたいと思っています。(独居の方も周りに何人もいらっしゃるの)・便利な事も良いのですが、のどかな自然が多いこの町でこのまま生活したいと思っています。個人的にはこのまま静かに暮らしたいです。

道路に捨てられたごみ、うち捨てられたきかない家屋、道路の伸びた雑草、住民への期待でやっってもらうのではなく町が責任をもって町全体をきれいにする必要があると考えます。住民の力をあてにするのではなく、町が積極的にきれいにする。そのための人やお金をあてて他のところから来た人にガッカリすることのないきれいな町を目指したら良いのではと思います。

地域福祉に人だけではなく、犬や猫の保護等、もう少し考えて頂きたいです。近年は多頭飼育崩壊の問題が各自治体で出てきています。昨年は、白老町でも起こったと記憶しています。避妊、去勢である程度は防げる問題です。年金で生活している方が費用がないという理由でこの事態に陥りやすいと思います。年配の方への飼育指導、助成金等、もっと積極的に取り組んで頂けないでしょうか。昨年の多頭飼育崩壊の後処理は苫小牧市の個人ボランティアさんに丸投げしたと聞いて、人として恥ずかしく思いました。

・平成9年(1997年)にはすでにあった「北海道にある元気まち白老」というスローガンは、さらに発展を目指す町民にわかりやすく呼びかけ多くの町民の同意を得たものであった。それがいつの間にか「協働が深化する多文化共生のまちづくり」へと変わっていった経緯も、このスローガンの意味するところもいまだに理解できない。最近ではそれが「共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち」なのだそうである。激しい人口減少に少子高齢化という現実の中で、これからの白老町をどうしてゆくべきかという課題に立ち向かう姿勢には、行政サイドにも住民側にもまだ切迫感が足りないと思っている。行政を担う職員には、定年退職の後もこのまちを守るという決意が求められる。・町が進める施策の総てが十分に達成されることは理想であるが、これからの白老町を考えると、軽重のバランス格差は意図的に考慮してかかるべきだ。・このまちに暮らすことでもから高齢者まで、生活上の安全安心は第一の願いである(①地勢の強靱化・道路・上下水道・電気・消防・救急・町財政など)。これに付随する施策として②健康づくり・医療・介護・教育・子育て・環境が挙げられる。まちの衰退を防ぎ、活性化を求めるものとして③観光・商工業・農林水産業・工業が挙げられる。・現実の事例の一端を挙げれば、白老町立病院にかかった人が町外の医療機関にかかってみて「ここは天国だ」と言う。商店は客を大事にして売る気があるのか。自助努力が足りなすぎる。・自治基本条例制定にあたって白老町は善意でとりくんだものとするが、全国的にみると在日外国人や不法移民などを「市民」として扱うことで、一朝ことあるときの日本乗っ取りに資する恐れがあると、強く反対する向きがあることを心しておきたい。白老町はこの条例の第12条にあるように「町民はまちづくりの主体として……」という条文があり、行政には都合のいいところを町民に丸投げする傾向があったこと(新年交流会が町民=町連合の主催であったことなど)から、当条例には配慮が必要である。この条例を制定していない市町村がたくさんある。

冬の除雪をもっと多くしてほしい。(国道以外)コープ以外にもスーパーが出来てほしい。

あればいい物、便利なものたくさんあると思います。でも、町の規模に応じたレベルで、財政バランスも大事だと思います。まわりの市と協力していければよいなと思います。

1. 医療関係を充実していただきたい。皮膚科、耳鼻科、眼科、精神関係等、白老でできるように望む。2. 本屋さんが無いのは残念。3. 一流のコンサートに以前はバスで札幌まで送迎してくれたのを、コロナがおさまってから実行して欲しい。さらにガーデニング視察とか短距離の見学等も望む。4. 下水道の整備、ドブのフタが無い。コロナの場合、問題である。5. 動物を大切にしてほしい。(猫、犬など捨てないでほしい)鹿も出るけれど、森の食べ物がないので出てくると思う。奈良県のようにしかを上手にならして、ポロト等で、人から餌をもらえるように育ててくださるのがいいと思う。動物を殺すのは反対。

ウポポイができ、せつかくアイヌ民族の尊厳の保持等を宣伝しているのに、差別的見方は根強いことを他より移住してきた私にも感じる。せまい空間の中で過ごしているせいか。他地域(民族も)との交流が少ないせいか。今まで日本全国さまざまな場所で住んできたが、同じ日本人を差別するというところに来て初めて知った。他の人の持つ常識や文化を受け入れないものと感じる。他の地域でもそれぞれの文化があり、大切にしていることを感じてきたが、「認めない」という強さを感じる。

これから、育児を考える世代なので、子育てなどについてのしっかりとした支援などがあるといい。やはり今の時代、お給料が少ないので、子どもが欲しくても金銭面で躊躇してしまう家庭が私以外にもたくさんあると思うので、その点はしっかりと欲しい。今後、この白老町で老後まで過ごすのは難しいと思います。交通の手段が少ない、大きな病院は苫小牧まで行かなければいけないので、老後も過ごしやすい町が期待できるのならば、ステキだと思います。アイヌ文化の保持は大切だと思いますが、少しお金をかけすぎなのではと思ってしまいます。

歩道がガタガタつまずきこわいです。歩道に自転車が後ろから来るとあぶないです。車も自転車も年よりの運転が多く、マナーがわるいと思う。

ワクチンの分からない質問を受け付ける場所がない。対策室は返答しない。

町内での行事や事業に対して事前に何があったのか知ることなく、事後に広報などで知り、「こういうことがあったのか」と、後から参加してみたかったなと思うことが多いように思います。もう少し事前告知はできないのでしょうか。

ポロト湖周辺の豊かな自然環境をもっと PR すべきと思う。

30年前に自宅持ち、主人の会社社長に進められ良い人達のあつまり、良い町内会と話され購入いたしましたが、私が車を入れ替えるたびにパンク、キズつけられ(法務所に相談いき)白老町はもめごと、イジメ、おとながしているとのこと。住みづらい町内会

子育て世帯への支援・未満児保育料軽減・助成が欲しい・おむつ代・おしりふき代助成(←町内で買えるようにクーポンにして…)生活困窮している人や、ひとり親など子ども2人以上とか絶対大変、ホント…若い世代への支援等。町内の高校を卒業したとしても町内の就職先が少ない…。結局町外へ移り住む人多数。大学行った組も、もちろん戻ってこない。白老の魅力を伝え、また白老に戻ってきたいと思える教育とまではいかないが、何か今後のために自分の未来や、やりたい事が見つけられるように学校や地域で見守り、育てて行けるようにしていきませんか。
